

三陸沿岸部や沖合の震災瓦礫・ゴミに関わる生態調査と清掃活動

〒986-2137
宮城県石巻市さくら町5丁目12-1
E-mail: info@i-umisakura.com
http://i-umisakura.com



復興支援助成

1年目

実践



回収したゴミの前で恒例の海さくらポーズ。

年間延べ参加人数	407人
清掃活動実施回数	11回
今年度計画の達成度	90%
活動の全体目標に対する達成度	40%

課題

震災後のボランティア活動から、楽しい地域貢献活動へと変わっていくために石巻地区、仙台方面などからの参加者やリピーターを増やし10年、20年と続く活動にしたい。

目標

子ども達が裸足で遊べる海に戻り、生態系に震災瓦礫や海洋ゴミの影響がない綺麗な海になる。主体となる地元のメンバーが増え、清掃活動を継続する。

活動内容と成果

●全11回の清掃活動に延べ407人(うち子ども48人)が参加。●地元参加者の割合、リピーター参加者が増加。●障害者の就労支援をする地域の放課後デイサービス施設との連携。●参加者の満足度向上と、震災後の海

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

漂着ゴミは種類がさまざま、絡まって分別しづらいものも多いため、初めて参加された方々への周知や徹底が難しい場面があった。

■ 工夫した点

海のゴミ拾いを楽しくするため、清掃後に浜でのBBQ開催やスタッフのスキルを生かしたマリンアクティビティ体験などを実施した。



への理解を深める。●機会の多様化を図り、海の清掃活動と浜のBBQやマリンアクティビティ体験などを同時開催。●親潮と黒潮の潮目の海洋ゴミ調査を2回行い、海洋ゴミの実態を伝えるために撮影した映像素材と記事をWEB上で発表。●計測したゴミのデータをDive Against Debrisに報告。



家族全員で海のゴミ拾いに参加

今後の展望

地元からの参加や家族連れでの参加割合が増加しているので、引き続き清掃後の交流をアレンジし「ゴミ拾いのレジャー化」を図っていく。また潮目の海洋ゴミの撮影、調査を続け海洋ゴミの実態を伝えていく予定である。